

房総（養老溪谷）大福山 山行報告

(山 域)：房総（養老溪谷） 大福山

(コース)：養老溪谷駅⇄大福山

(日 時)：令和2年3月30日（月）

(天 候)：曇り

(参加者)：田中単独

(山行タイム)：養老溪谷駅 8:30⇄大福山 10:20（休憩） 10:40⇄養老溪谷駅 12:00

(山行報告)：1年間の地元都合での拘束から解放されまずは地元の軽いハイクからスタートと考え
コロナウイルス問題もあり、人の居ない静かな場所として選んだ、小湊鉄道沿線の
駅から乗車すると学校が休みで月曜であり、下り列車では2両に3~4人しか居ず、中
間駅を過ぎると私一人と車掌のみのガラガラ状態で養老溪谷駅に着く。

駅前も静まりかえって居て、このままでは故郷の里山も衰退の始まりを思わせた。

一人、大福山白鳥神社を目指して進んで行くが途中の梅が瀬溪谷入口で今年正月に
訪れた時は入口に侵入禁止バリケードがあったが今回は無くなっていて、路肩の立入
禁止の立て看板だけになっていた。(H氏の助言があった梅が瀬までは修復されて居て
大福山への急登は途中が崩壊で通行止め情報)もしかして沢筋は入れるかと、考えて
分岐から梅が瀬へ進み、奥の民間駐車場まで来ると奥はロープで通行止めと伐採樹木
で完全な封鎖状態であった。

やむなく、元の大福山分岐道路まで戻り、道路沿いに山頂を目指す、途中で会ったの
は猿1匹・鳥・山頂直下の集落の農夫1名で他には誰も会うことは無かった。

また、季節外れの前日の雪が僅かであるが残り、感無量の雪と出会った。

山頂で行動食を頂き往路を帰途につく。

駅に帰ると車のお客が駅前に3~4人いる程度で缶ビールを頂きながら発車まで想い
にふけり久々の故郷（市原）内での山旅を終わる。



【故郷の里山は花盛り】



【山頂下で休憩】

【季節外れの雪に遭遇】